



大学生活を充実させていく
ために必要な情報を
ご紹介します。



2022年度 学修コンシェルジュによる 学士課程新入生ガイダンス

学生支援センター未来人材育成部門
学修コンシェルジュ窓口

concierge.info@jim.titech.ac.jp



学修コンシェルジュ窓口HP

学修相談や、学修に役立つ
資料・プログラムの利用方法は
こちらをご覧ください。



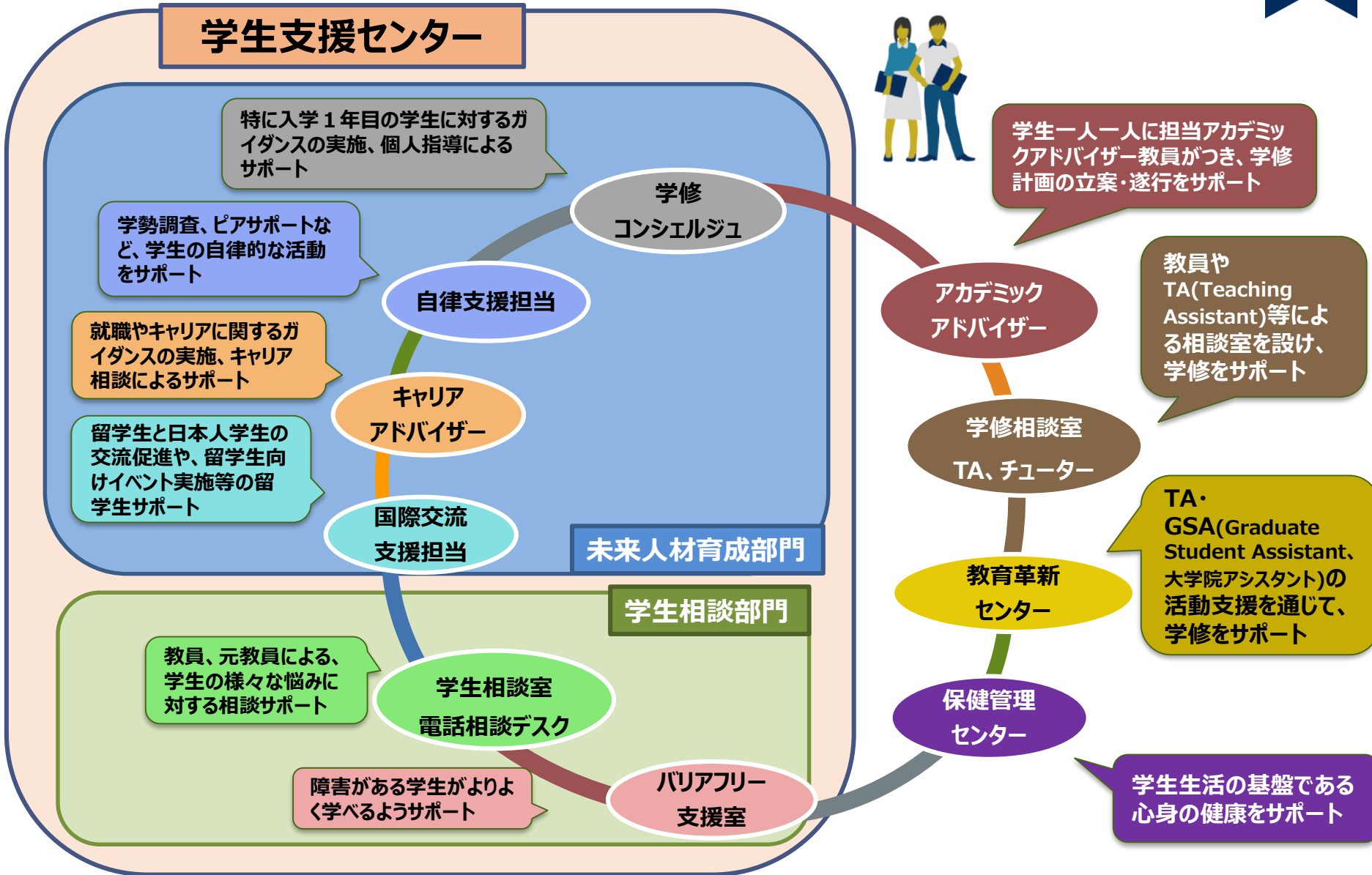
学修コンシェルジュ窓口 公式LINEアカウント

学修に関する情報を毎月定期的に
配信しています。ぜひご登録ください。

目次

◇東工大の支援体制・支援ツール	3
◇学修コンシェルジュ	4
◇「大学生」になる・「東工大生」になる	7
◇ユニット	8
◇大学からの情報を入手しましょう	9
◇OCW・T2SHOLA	10
◇大学での学修の基本	11
◇時間割と単位	12
◇履修申告	13
◇学生生活のデザインその①：学生生活は「自分でつくる時間割」から始まる	14
◇学生生活のデザインその②：+ α で何をするか？	15
◇学生生活のデザインその③：将来の夢・計画と今を繋げるには？	26
◇学生生活のデザインその④：早期卒業	27
◇学生生活のデザインその⑤：学び方	28
◇大岡山キャンパス自習室一覧	29
◇前学期の授業日程	30
◇サークル活動	31
◇Hisao & Hiroko Taki Plaza	32
◇東工大の歴史	34
◇東工大同窓会による学生の支援活動	40
◇参考①：先輩の声	41
◇参考②：東工大教員・名誉教授の声	45

◆ 東工大の支援体制・支援ツール



● 修学環境の整備…学修ポートフォリオ、TOKYO TECH OCW、T2SCHOLA、MOOC (SPOC)、図書館、アクティブラーニング教室、レクチャーシアターなど、大学として修学環境の整備実施

◆学修コンシェルジュ

学修コンシェルジュは、皆さんが**東工大の教育カリキュラム**を理解し、**主体性をもって学修活動をスムーズに進めていけること**を目標に支援しています。

◇学修相談の利用方法

- 対面相談**：Taki Plaza、もしくはすすかけ台図書館の窓口へお越しください。詳細は続く2ページをご覧ください。
- メール・Zoomでのオンライン相談**：氏名、学籍番号、所属学院・系／コース、および相談内容を明記したうえで、次のアドレスへメールをお送りください。Zoomでの相談をご希望の場合は、相談日程を調整しますので、メールで希望日時をお知らせください。

 concierge.info@jim.titech.ac.jp

[大岡山キャンパス] Taki Plaza 学修コンシェルジュ窓口



場所：Taki Plaza 地下1階
Student Support Center窓口

時間：月曜日～金曜日 8:30～17:15

★ご利用の際は、「学修コンシェルジュ
への相談」との旨をお伝えください。

※祝日・年末年始はお休みです。

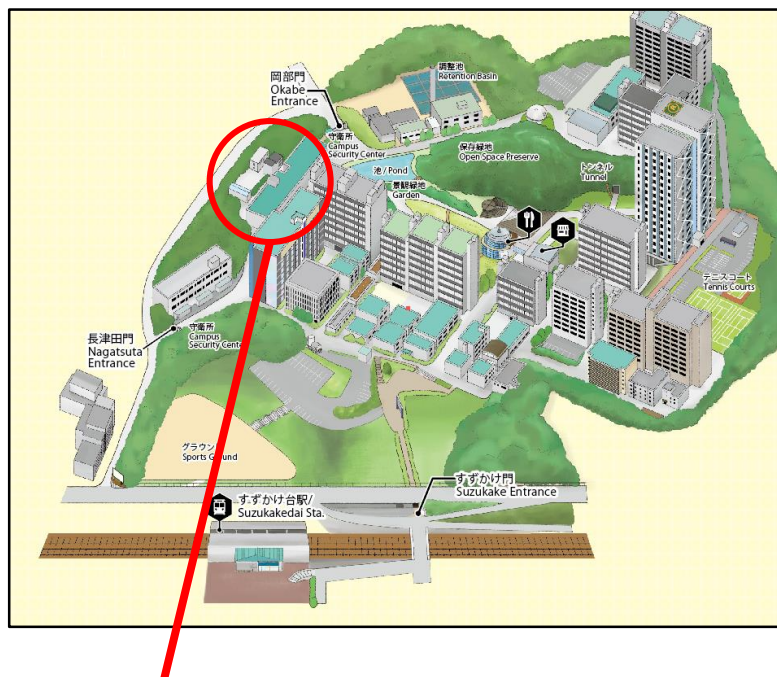
※イベント等で、一時的に不在の場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の影響や、その他、やむを得ない事情により窓口を閉めることがあります。



[すすかけ台キャンパス]

すすかけ台図書館学修コンシェルジュ窓口



すすかけ台図書館

場所：すすかけ台図書館1階
(1階入口に入って右奥)

時間：毎週3日間 9:30～16:30
(11:15～12:15を除く)

詳しくは、学修コンシェルジュHPをご確認ください。



※イベント等で、一時的に不在の場合があります。

※祝日・年末年始はお休みです。

※新型コロナウイルス感染症の影響や、その他、やむを得ない事情により窓口を閉めることがあります。

◆「大学生」になる・「東工大生」になる

◇高校とは異なる「大学での学修」の特徴

自分が何をどう学ぶかを、
自分の興味・将来計画に合わせて、
自分で決めることができる
(決めなければならない)。



学ぶ

東工大生として必要な理工系教養科目や文系教養科目を学ぶことで、「理工系人材としての共通言語となる知識」を身に付けます。



創る

東工大で学ぶ知識と挑戦する心を備え、社会への貢献を具現化するための「創造する経験」を重視します。



こころ

自分の夢やグローバルな課題に向かって挑戦する心を大切にします。大学は、自分の心を成長させる場所です。



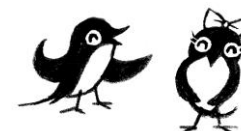
◇大学生活に慣れる・東工大に慣れる

- ・大学生としてのライフワークの確立
- ・目標を立てる。履修計画を作成する。
- ・専門(系)を選び、勉学・研究の領域を決める。
- ・困ったときの解決方法を把握する。適切な窓口でサポートしてもらう。
- ・友人を作る。課外活動にも参加する。学び合う。
- ・進路を明確にする。自身の人格像を作り上げていく。

◆ ユニット

専門の枠を超えて幅広く付き合いを広げるコミュニティ

- ◇ 新入生は、基本的に1～80いずれかのユニットに振り分けられています。
- ◇ 1ユニットあたりの人数は14～15名で、各ユニットに、すべての学院の学生が配置され、全学院混合のユニットとなるように構成されています。
- ◇ 必修科目は、ユニットのまとまりで履修します。



クラス分けの種類	
ユニットクラス	学士課程1年目の必修科目（立志プロジェクト、英語、理工系教養必修科目）のクラスは、ユニットを単位に構成されている（複数ユニットで1クラスが構成される）。ユニット単位で構成されるクラスには、全学院の学生が所属する。立志プロジェクトのクラスは、学士課程3年目後期の教養卒論のときに再度同じメンバーが集まることになる予定。
学院クラス	各学院のクラス分けもあり、学院クラスは、同じ学院の学生で構成される。初年次専門科目でクラス分けされる場合がある。なお、学士課程2年目以降は系に所属し、学院クラスで学ぶことはない。学士課程2年目以降の系専門科目でも科目によってクラス分けされる場合があり、クラス分けの方法は科目によって異なる。

◆ 大学からの情報入手しましょう

- 大学から学生の皆さんに、**東工大ウェブサイト**（「**在学生の方**＞**学務部掲示物情報**」、「**在学生の方**＞**お知らせ**」など）や**メール**（**東工大のmアドレス宛**）にて多くの情報を提供しますので、1日に1回はそれらを**確認する習慣**を身につけましょう。
- 授業の休講情報や課題、履修申告期間の案内、修了に関することについても連絡します。
- 夏季休暇・春季休暇中にも大事な連絡を行うこともあります。情報を見落とさないように注意しましょう。
- mアドレスに届くメールをスマートフォンのメールアドレスに転送されるように、設定することをお勧めします。
- 様々な情報の中から、**自分に必要な（関係する）情報を取得**できるようになりましょう。

◆ OCW・T2SCHOLA

◇ OCW

- 授業科目のシラバスや、一部授業の講義ノート・動画等を確認することができます。
- 履修する授業を決める際には、OCWでシラバスを確認しましょう。

OCW



◇ T2SCHOLA

- 自分が履修している授業の講義情報・資料・課題等を確認することができます。

T2SCHOLA操作ガイド



※1年生向けのハンドアウト「Tokyo Tech Study Tips」にも関連の説明があります。
学修コンシェルジュ窓口HPへアクセスしてお使いください。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge>

◆大学での学修の基本

大学での学修は基本的には以下の流れで進みます。

- ①時間割を自分で作る（どの科目を履修するかを決めるために必要な入学時配布資料やシラバスを読み、興味がある授業の第1回授業に出席してみることを含みます）
 → ②履修申告（登録） → ③授業履修 → ④試験の受験（授業によってはレポートの作成）
 → ⑤成績評価 → ⑥単位認定 → ⑦必要な単位数がそろえば次のステップに進める
 （系所属、学士特定課題研究の開始、早期卒業、卒業など）

◆授業の履修にあたっては、「（成績だけではなく）履修することによって、**何ができるようになる**ことを求められているか」を、科目のシラバスを読んで明確に意識してください。高校までの学習とは異なり大学での学びは、「単に試験で良い点を取る」だけでは不十分です。

◆学修の状況や成果を示す指標：

◇GPA(Grade Point Average)： $GP[(成績-55)/10]$ （0.5から4.5）に単位数を掛けたものの和を、履修申告した単位数（不合格科目も含む）の和で割ったもの。

成績証明書に記載されます。**履修申告上限単位数を緩和する場合の基準**になります。

修学指導対象学生にかかる基準になります。**奨学金・留学等の条件**になることがあります。

◇GPT(Grade Point Total)：卒業要件となる申告科目のGPに単位数を掛けたものの和を、卒業必要単位数(110)で割ったもの。

早期卒業、飛び入学の基準として用いられます。

GPTはGPAと異なり、分母を固定しています。よって、いろいろな興味を持って科目をたくさん履修したい学生にも有利に働く設計になっています。

◇GPA・GPTは、東工大ポータルの教務Webシステムに表示されます。

◆時間割と単位

◇学士課程1年目第1・第2クォーター時間割の特徴

- ◆東工大生として社会で活躍する際に、理工系人材として身につけておくべき広範な理工系教養（数学、物理学、化学、生命科学）、文系教養、英語を必修科目として学びます。
- ◆将来の専門性につながる専門科目を学びます。
- ◆自分で履修を決める科目は「人と同じ、楽勝だから、必修の空いている枠に取りやすいから」ではなく、**自分自身の興味や関心、好きなこと、やってみたいこと、将来や夢を考えて選びましょう。**
- ◆履修する科目を決めることは、将来進学する系、所属する研究室、卒業後の進路や夢につながる第一歩です。
- ◆**大学時代に幅広く学問分野の基礎に触れておく**ことは、多くの東工大の先輩達、企業が推奨しています。

◇単位数について

- ◆学士課程1年目は、1年間で履修申告できる上限の単位数は**48単位**です。
1単位は、授業外学修を含めて45時間分の学修によって付与されることになっているので、授業外の予習・復習をしっかりと行ってください。
- ◆前学期（第1・第2クォーター）の学期GPAが3.0以上の場合、前学期に履修した単位を含め当該年度の上限単位数が**52単位**になります。
- ◆当該年度の年度GPAが3.0以上の場合、翌年度の上限単位数は**56単位**になります。
- ◆系所属（学士課程2年目）に必要な単位は、所定の条件を満たしたうえで、**31単位**です。
系所属の条件を満たしていれば、必修単位を落とした場合でも系所属可能です。

◆履修申告

◇時間割の作り方・履修申告（登録）

- ◆入学時に配布された「2022年度 学修案内（学士課程）」、「2022年度 前学期（第1・第2クォーター）学士課程時間割表（HPにて公開）」、「東京工業大学キャンパスガイドブック2022」を熟読して時間割を作りましょう。特に学修案内は、卒業まで常に手元においておきましょう。これらの冊子は、東工大で学修する上での「バイブル」です。書いてある内容で分からないことがあれば、教務課学務グループ（Taki Plaza1階）、学修コンシェルジュ窓口、アカデミック・アドバイザー、初年次担当主任の先生に問い合わせましょう。
- ◆履修申告をする前に、興味がある授業に出席してみることが可能です。初回の授業で履修制限が行われたり、授業に関する重要事項が告知されることもあるので、履修を検討する科目については、授業の初回から出席しましょう。また、第2クォーターからの文系教養科目については事前に履修予約を行うため（4月中旬頃。東工大立志プロジェクトの授業等で説明があります）、初回授業に出席しても履修できない場合があります。

◇クォーター制について

- ◆第1・第2クォーターの時間割を考えて、履修申告期間（時間割表に掲載）に、第1・第2クォーター分をまとめて申告します。週に2回以上授業のある科目があります。
- ◆必修科目、上限単位数、系所属要件、自分自身の将来の計画や許容量を考えつつ、柔軟な学修計画が立てられます。学士課程3年目の第2クォーターは必修科目がないため、第2クォーターと夏休みを利用して、インターンシップや留学などの活動がしやすくなっています。
- ◆どの程度の科目数をどのクォーターで履修登録するか、選択科目に何を選ぶかは「自分で決めること」です。悩んだら、アカデミック・アドバイザー、学修コンシェルジュなどに相談してみましょう。

◆学生生活のデザイン①：

学生生活は「自分で作る時間割」から始まる

- ここにあげた例は、2022年度の時間割をもとに実際の履修プランを想定して作られた一事例です。**この通りの履修を推奨するものではありません。**ここにある情報は変更等が生じる可能性があります。実際にご自身の時間割を作成される際は、学修案内と東工大HPの学士課程時間割表をよくご確認ください。
- 一部科目は、ユニットとクラス分けが一致していないことがありますので、必ずご自身の**クラス分け通知書を参照**しながら、時間割作成及び履修申告を行ってください。
- 学期又はクォーター別にみた必修科目の望ましい修得単位数は、「**2022年度学修案内（学士課程）**」を**参照**してください。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、時間割・授業形態等が今後変更になる可能性があります。最新情報をご確認ください。
- Zoomを利用した授業では、フォーカスモード（授業担当教員には受講生の皆さんの顔が見えるが、受講生の皆さんにはお互いの顔が見えない機能）の利用が推奨されています。Zoomでの授業受講に関しては、以下のHPをご確認ください。

<https://www.titech.ac.jp/student/students/life/distance-learning>

◆ 学生生活のデザインその①

～学生生活は「自分でつくる時間割」から始まる～

(例1) 学士課程1年目第1クォーター(4月上旬～6月上旬)の時間割

第1クォーター

(例は物質理工学院ユニット21
の学生を想定)

必修単位	単位数
文系教養	2
英語	1
理工系教養	5
小計	8
選択必修又は選択単位	単位数
初年次専門科目(物質理工学院)	1
理工系教養(科学技術の最前線)	1
理工系教養(情報リテラシー第一)	1
理工系教養(化学実験第一(注1))	1 (注2)
小計	4
合計	12

指定されている

時限	月	火	水	木	金
1-2	英語第一(1) 	無機化学基礎(1)		線形代数学第一・演習(2)(注3)	力学基礎1(1)
3-4	情報リテラシー第一(1) 	線形代数学第一・演習(2)(注3)	線形代数学第一・演習(2)(注3)	立志プロジェクト(2)※ 	生命科学基礎第一(1)
昼休み	立志プロジェクト(2) (昼時間開講) 			科学・技術の最前線(1)※ (昼時間開講) 	
5-6		物質理工学リテラシー(1)			
7-8		化学実験第一(注1)(2)			
9-10					

ここが、「自分の興味関心・将来の希望・大学でやりたいこと・・・」に合わせて
自分で履修する科目を決められる範囲

この例の場合は

「せっかく東工大に入ったので、さっそく科学技術の最先端に触れておこう。さらに、これからの東工大での学修に備えて学内のIT環境を含めた情報リテラシーを身に付け、大好きな化学の実験をやろう。」

「単位は系所属に必要な最低限を超えて、制限ぎりぎり(年間48単位)まで、かつ、各クォーターの単位数がバランスよくるように申告しよう。」という志向で選んだ時間割になっている。

() 内は単位数

 はライブ型授業もしくはオンデマンド型講義

※前後の科目が対面の場合、Zoom授業は大学での受講を推奨する。大学でZoom受講をする場合は、時間割表を確認し、受講する科目の講義室欄に記載された講義室で受講する。受講に使う端末やイヤホンはご自身でお持ちください。

注1: 履修希望学生数が、クラス毎の最大収容人数を超えたクラスでは抽選を行う。

注2: 第1・第2クォーターの履修で2単位になる。

注3: 講義と演習がセットで2単位・週3日の科目

(※) 必修科目・・・東工大生として社会で活躍する際に理工系人材として身に付けておくべき広範な理工系教養科目・文系教養科目・英語が必修科目として指定されている。

必修科目(※)が
決まっているので
ほとんど選択の
余地はない

◆ 学生生活のデザインその①

～学生生活は「自分でつくる時間割」から始まる～

(例2) 学士課程1年目第2クォーター（6月上旬～8月上旬）の時間割

第2クォーター
 (例は物質理工学院ユニット21
 の学生を想定)

必修単位1	単位数
英語	1
理工系教養	5
小計	6
選択必修又は選択単位	単位数
初年次専門科目（物質理工学院）	1
創造プロセス科目（物質理工学院）	1
文系教養選択必修（コミュニケーション論A）	1
理工系教養（ものづくり）（集中講義）	2
理工系教養（化学実験第一（注1））	1（注2）
理工系教養（環境安全論）	1
小計	7
合計	13

指定されている

時限	月	火	水	木	金
1-2	英語第二(1)	有機化学基礎(1)		微分積分学第一・演習(2)(注3)	力学基礎2(1)
3-4		微分積分学第一・演習(2)(注3)	微分積分学第一・演習(2)(注3)	環境安全論(1)	生命科学基礎第一2(1)
昼休み					
5-6	文系教養選択必修(コミュニケーション論A)(1)	物質理工学概論A(物質理工学院)(1)			科学・技術の創造プロセス(物質理工学院)(1)
7-8		化学実験第一(注1)(2)			
9-10					

ここが、「自分の興味関心・将来の希望・大学でやってみたいこと・・・」に合わせて自分で履修する科目を決められる範囲
 この例の場合は「引き続き必修科目と大好きな化学の実験をやりつつ、せっかく東工大に入ったので、ものづくりを集中講義で体験してみよう。コミュニケーションはすべての基礎なので、文系の選択必修はコミュニケーション論を選択してみる。」という志向の科目選択になっている。「単位は1年次に申告できる上限の48単位を第4クォーターでバランスよく取得するように申告しよう。」という志向で選んだ時間割になっている。

集中講義
ものづくり(2)

※集中講義の開催時期など、詳細に関してはシラバスを確認。

注1: 履修希望学生数が、クラス毎の最大収容人数を超えたクラスでは抽選を行う。
 注2: 第1・第2クォーターの履修で2単位になる。
 注3: 講義と演習がセットで2単位・週3日の科目

引き続き選択の余地はあまりない
 ...

◆ 学生生活のデザインその①

～学生生活は「自分でつくる時間割」から始まる～

(例3) 学士課程1年目第3クォーター（9月下旬～11月下旬）の時間割

第3クォーター

(例は環境・社会理工学院ユニット21の学生を想定)

必修単位1	単位数
英語	1
理工系教養	2
小計	3
選択必修又は選択単位	単位数
初年次専門科目（環境・社会理工学院）	1
文系教養選択必修（芸術A）	1
ウェルネス実習（注5）	0.5
理工系教養（線形代数学第二）	2
理工系教養（線形代数学演習第二）	1
理工系教養（図学・図形デザイン第二）（注1）	1
理工系教養（図学製図）（注2）	1
理工系教養（コンピューターサイエンス第一）	1
理工系教養（物理学演習第二）（注3）	0.5
理工系教養科目（物理学実験第二）（注3）	0.5
理工系教養（生命科学基礎第二）	1
小計	10.5
合計（注4）	13.5

指定されている

時限	月	火	水	木	金
1-2	英語第三(1)	量子化学基礎(1)	線形代数学演習第二(1)	線形代数学第二(2)	電磁気学基礎1(1)
3-4	コンピューターサイエンス第一(1)	線形代数学第二(2)		ウェルネス実習(1)(注5)	生命科学基礎第二1(1)
昼休み	文系教養選択必修(芸術A)(1)(昼時間開講)				
5-6				環境・社会理工学院専門基礎2(1)	
7-8	図学・図形デザイン第二(2)			図学製図(1)	物理学演習第二(1)
9-10					物理学実験第二(1)

ここが、「自分の興味関心・将来の希望・大学でやってみたいこと…」に合わせて自分で履修する科目を決められる範囲

この例の場合は

「数学・コンピューターサイエンス・物理・生命科学は分野に関わらず技術者の仕事の基礎だと思うので、必修は第1・第2クォーターで終わったけれど、引き続き選択科目をできるだけ履修しよう。体力づくりのために必修ではないが、ウェルネス(体育)も履修しよう。」「将来建物のデザインの仕事に興味があり建築学系への進学を考えているので、建築学系に必須の図学関係の単位は取らなければならない。」「芸術が大好きなので文系教養の選択必修は芸術を選択しよう。将来建物をデザインするためにも芸術のセンスは必要だろう。」「第1・第2クォーターがんばってGPA3.0以上だった。同じ学費を払うなら、大学で出来るだけ多くのことを学んでおきたい。年間48単位の上限が52単位に増やせたので、第3クォーターは14単位申告しよう。」という志向で選んだ時間割になっている。

注1: 第3・第4クォーターの履修で2単位になる。

注2: 建築学系課程を履修しようとする者は、学士特定課題研究申請に必要となるので、図学・図形デザイン第一、同第二及図学製図合わせて5単位を修得しておくことが必要。

注3: それぞれ、第3・第4クォーターの履修で1単位になる。演習と実験が隔週で行われる。

注4: 前学期において学期GPAが3.0以上だった場合は、当該前学期に履修申告した単位を含め、当該年度(4月～3月)の上限単位数が52単位になる。

注5: ウェルネス実習は、1クラス(週1回)×2履修することではじめて1単位となる。

※3Q,4Qの時間割は、昨年度の時間割を基に作成しています。最新情報をご確認ください。

※後学期(3Q,4Q)の授業形態は未定

第3・第4クォーターは必修が減るので時間割の自由度が増し「その人らしい」時間割が作れる。
第1・第2クォーターの頑張り次第で履修制限の上限を増やすことも可能。

◆ 学生生活のデザインその①

～学生生活は「自分でつくる時間割」から始まる～

(例4) 学士課程1年目第3クォーター（9月下旬～11月下旬）の時間割

第3クォーター
(例は工学院ユニット21
の学生を想定)

必修単位1	単位数
英語	1
理工系教養	2
小計	3
選択必修又は選択単位	単位数
初年次専門科目（工学院）	1
文系教養選択必修（心理学A）	1
理工系教養（線形代数学第二）	2
理工系教養（線形代数学演習第二）	1
（教職科目を除く）	
小計	5
合計	8

指定されている

時限	月	火	水	木	金
1-2	英語第三(1)	量子化学基礎(1)	線形代数学演習第二(1)	線形代数学第二(2)	電磁気学基礎2(1)
3-4		線形代数学第二(2)			
昼休み	文系教養選択必修(心理学A)(1) (昼時間開講)				
5-6			教職科目	工学リテラシーⅢ(1)	
7-8					
9-10					

ここが、「自分の興味関心・将来の希望・大学でやってみたいこと…」に合わせて
自分で履修する科目を決められる範囲

この例の場合は

「第1・第2クォーターは合計24単位分申告したが、大学の勉強についていくのに必死で、かなり大変な思いをした。成績も思ったほどよくなかったので、第3クォーターは申告単位数を減らして、その分、しっかり予習復習をしよう。」「将来、企業のエンジニアになるか、中高の理科教員になるか迷っている

ので教職科目は取っておく。」「文系教養選択必修は、教員になった時に役立ちそうな心理学を勉強しておく。」「単位数は、系所属要件(所定の要件を満たした上で合計31単位)を満たしつつ、無理はしない範囲に抑える。」という志向で選んだ時間割になっている。

第3・第4クォーターは必修が減るので時間割の自由度が増し、「その人らしい」時間割が作れる。
第1・第2クォーターで苦勞した場合、申告科目数を必要最小限に抑えることも可能。

※3Q,4Qの時間割は、昨年度の時間割を基に作成しています。最新情報をご確認ください。

※後学期(3Q,4Q)の授業形態は未定

◆ 学生生活のデザインその①

～学生生活は「自分でつくる時間割」から始まる～

(例5) 学士課程1年目第4クォーター（11月下旬～翌年2月上旬）の時間割

第4クォーター
(例は情報理工学院ユニット21
の学生を想定)

必修単位1	単位 数
英語	1
理工系教養	2
小計	3
選択必修又は選択単位	単位 数
初年次専門科目（情報 理工学院）	1
文系教養選択必修（技 術史A）	1
小計	2
合計	5

指定されている

時限	月	火	水	木	金
1-2	英語第四(1)	化学熱力学基礎(1)			電磁気学基礎1 (1)
3-4					
昼休み					
5-6	文系教養選択必修 (技術史A)(1)			情報理工学基礎3(1)	
7-8					
9-10					

生命科学基礎第二2

コンピューターサイエ
ンス第二

など、理工系教養科目の
選択科目の申告を増やす
ことも可能

ここが、「自分の興味関心・将来の希望・大学でやってみたいこと・・・」に合わせて
自分で履修する科目を決められる範囲

この例の場合は

「第1・第2クォーターは24単位取得。第3クォーターは12単位申告した。第4クォーターの
必修科目の単位を取得できれば、系所属要件(所定の要件を満たしたうえで合計31
単位)はすべて満たせる。入学後にはじめてベンチャー企業でのプログラミングの
アルバイトが面白くなったので、第4クォーターは必修以外は授業を入れず、企業で働く時間を増やすこ
とにした。将来は得意なIT関係で自分も起業したい。経営者は技術変革の方向性を見定めることが重要
なので、文系教養選択必修は技術史Aを学ぼう。・・・」という志向で選んだ時間割になっている。

クォーター単位で、
学業以外の活動
時間も柔軟に
決められる。

※3Q,4Qの時間割は、昨年度の時間割を基に作成しています。最新情報をご確認ください。

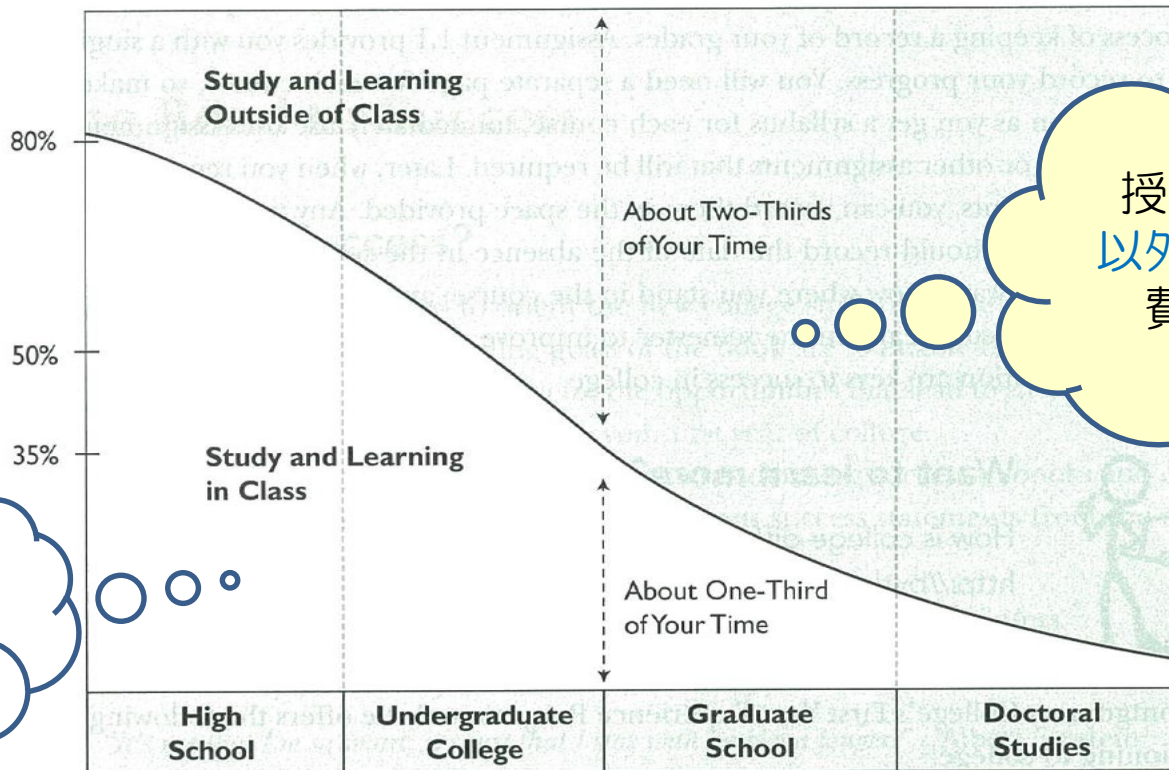
※後学期（3Q,4Q）の授業形態は未定

◆学生生活のデザイン②：+ α で何をするか？

Figure 1.1

Venues for Studying and Learning at Various Academic Levels

Higher levels of education require a larger percentage of outside study.



授業（教室）での学びに費やす時間

授業（教室）以外での学びに費やす時間

高校→大学（学士課程→大学院修士課程→大学院博士後期課程）と進むにつれて授業（教室）以外での学びに費やす時間が増える。

授業（教室）以外での学び＝ 授業の予習復習 ＋ α （ここで何をするか？）

◆学生生活のデザイン②：＋ α で何をするか？

「東工大で〇〇したい」をかなえる具体的な方法：

①「ものづくり」がしたい

◆ものづくり教育研究支援センター（大岡山：南2号館1階、すすかけ台：B1号棟2階）に行ってみよう。→ <http://www.mono.titech.ac.jp/>
大岡山では新入生ものづくり体験がある。今年は「ものづくり教育研究支援センターオリジナル 3Dillumination」を作れる。



◆夏期集中講義「ものづくり」でスターリングエンジンと回転計を製作する。

◆技術（ものづくり）系サークルへ所属してみる。

https://www.titech.ac.jp/enrolled/extracurricular/organizations/technology_related.htm

◆「ものづくり」を行っている研究室を東工大のウェブサイトで探してみる。



②同級生の友達を作りたい

◆ユニットのメンバーと交流しよう。学士課程1年目の必修科目は同じ「ユニット」のメンバーが同じクラス（1クラスは複数ユニットで構成）で学ぶことになる。ユニット、クラスの単位で仲良くなり、工大祭に参加するところもある。



◆サークル活動に積極的に参加してみる。

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/extracurricular/organizations/>

◆学生支援センター未来人材育成部門（学生活動支援窓口）で支援している学生の活動に参加してみる。

<http://www.siengp.titech.ac.jp/>



◆学生生活のデザイン②：+ α で何をするか？

③早く研究を体験したい

- ◆B2D特別選抜（B2Dスキーム）に応募する。
https://www.titech.ac.jp/enrolled/certificate_current/b2d.html
- ◆早期卒業をめざし、通常より早く「学士特定課題研究」を履修する。
- ◆300番台「研究プロジェクト」科目では、複数の研究室で研究体験を行うことができる。
- ◆「理工系学生能力発見開発プロジェクト（リプロ）」に参加する。学士課程1年目でも学会参加などのチャンスあり。
<http://www.siengp.titech.ac.jp/risuu/index.html>
- ◆アカデミック・アドバイザーに相談してみる。



④他大学の授業を取りたい（四大学連合・複合領域コース）

- ◆四大学連合（東京医科歯科大学、一橋大学、東京外国語大学、東京工業大学）複合領域コースに所属する。
他大学の授業を、系に所属する学士課程学生が履修できる。
- ◆例年、9月下旬～11月上旬が受付期間なので、学士課程2年目に履修したい場合は、1年目秋に出願できるよう、四大学連合・複合領域コースのウェブサイトの情報を今から確認しておく。
<http://www.gakumu.titech.ac.jp/kyoumu/yondai/>



⑤他大学の授業を取りたい（単位互換(慶應義塾/お茶の水女子)）

- ◆系に所属する学士課程学生が履修できる（学院所属学生は対象外）。
- ◆第1クォーター及び第3クォーター初めに教務課窓口で手続きする。
詳細は、HPにて確認すること。
<https://www.titech.ac.jp/enrolled/life/other.html>



◆学生生活のデザイン②：＋ α で何をするか？

⑥少人数で先生を囲んで学ぶゼミに参加したい

- ◆文系教養科目のゼミ科目を履修したり、アカデミック・アドバイザーに相談してみる。
- ◆研究室所属後には、研究室のゼミに参加できる。

⑦基礎科目の理解を深めたい、基礎科目の授業についていけない、課題がわからない

- ◆学修相談室に行ってみる。数学、物理、化学、生命科学、外国語それぞれに学修相談室がある。教員、TA（ティーチングアシスタント）などが質問に答えてくれる。

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/counseling/other.html>



- ◆学修コンシェルジュJr.による理工系教養科目チュータリングに行ってみる。年の近い先輩チューターが、学士1年生を主な対象として、物理・化学・数学の相談に乗ってくれる。

→ <https://www.titech.ac.jp/enrolled/counseling/concierge.html>



- ◆東工大ライティングセンターに行ってみる。レポートなどの学術的文章を、文章指南の訓練を受けたチューターとの対話を通じ、改善できる。

http://www.fl.ila.titech.ac.jp/writing_center.html



◆学生生活のデザイン②：+ α で何をするか？

⑧英語力を向上させたい・英語以外の外国語を学びたい

- ◆数学、物理学、化学、生命科学は英語で実施される科目を選択することも可能。
(希望者多数の場合、全員が履修できないこともあり。)

- ◆外国語事務室（西3号館8階805）に行き、外国語集中講座等の情報収集をする。
外国語学修資料室を利用する。

<http://www.fl.ila.titech.ac.jp/index.html>



- ◆学士課程2年目には第二外国語を履修する（選択調査で回答する4単位が選択必修）。
- ◆必修科目以外の英語、第二外国語の選択科目を履修する。

- ◆英語や留学関係のサークルに所属する（②「サークル活動」のURL参照）。

- ◆「English Café」に参加する。

リベラルアーツ研究教育院の英語担当教員や留学生TAと英語でのフリートークを一緒に楽しめる定期的なセッション

<https://www.fl.ila.titech.ac.jp/cafe.html>

- ◆「多言語チャットルーム」に参加する。

ネイティブの留学生とスペイン語、中国語、韓国語の3言語（予定）やその文化に関するフリートークができる定期的なセッション

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge>

◆学生生活のデザイン②：+αで何をするか？

⑨ 留学・国際経験に興味がある

◆ グローバル理工人育成コースに所属する

国際意識・英語力・コミュニケーション能力・異文化理解力など、留学前に身に付けておきたい能力を体系的に学ぶことができる。所属生には留学に役立つ特典がいっぱい！

グローバル理工人
育成コース



◆ 留学情報館（Taki Plaza B1階）に行ってみる

留学に関する様々な情報を一括して集めたい場合はココ！自分に合ったプログラムの相談や留学準備の仕方など、個別相談にも対応。

留学情報館



◆ 国際交流メールニュースに登録する

留学プログラムや留学用奨学金に関しての情報をいち早く入手できる！

国際交流
メールニュース



◆ 『東工大生のための海外留学のてびき』を手に入れる

東工大の留学プログラムをまとめた一冊。Taki Plaza や博物館などで配布するほか、HPからも閲覧可能。

◆ 留学座談会（留学イベント）に参加する

留学を終えたばかりの先輩たちによる体験談発表や各種プログラムの説明などが聞ける座談会を2か月に1度のペースで実施中。留学のイメージを膨らませよう。

登録はこちら↑

留学のてびき



東工大留学フェア

毎年春に開催される留学に関する情報を集約したイベントです。
プログラム担当者や留学経験者の話を直接聞けます。
2022年度の最新情報は【留学イベントHP】でチェック！

◆学生生活のデザイン②：+ α で何をするか？

⑩学内で国際交流したい

- ◆東京工業大学国際交流学生会（SAGE）、東京工業大学留学生会（TISA）に参加する。
→ <https://www.titech.ac.jp/globalization/stories/>



⑪附属図書館を活用したい

- ◆図書館では、理工系の専門書・学術雑誌を中心とした資料を所蔵している。
入館時は学生証（図書の貸出時にはPINコード）を持参しよう。
→ <https://www.libra.titech.ac.jp/>
- ◆無線LANを利用できるため、ノートPC等を持ち込んで学習することもできる。開館スケジュールは、図書館Webサイトのカレンダーで確認できる。
→ <https://www.libra.titech.ac.jp/calendar>
- ◆図書館で活動している学生が作成した紹介動画を、Webサイトで公開している。対面授業に先立ち、大学図書館の中を覗いてみよう。
→ <https://www.libra.titech.ac.jp/supp-event>



⑫人文図書室（4月より名称変更の可能性あり）

- ◆本の閲覧・貸出、DVDの鑑賞・貸出ができます。
飲み物を持ち込める自習スペースもあるのでご利用ください。
- ◆場所：西9号館E棟1階114号室
- ◆開室日時：月・水・木・金 10:00～17:00
火 13:00～16:00（祝日・年末年始を除く）
→ <http://libra.ila.titech.ac.jp>



◆学生生活のデザイン②：＋ α で何をするか？

⑬教員免許を取りたい。将来、中学・高校の教師になることに興味がある

- ◆教職オリエンテーションで「教職ガイドブック」が配布される。教員免許を取りたい場合は、教職オリエンテーションの開催詳細を教職Webページで確認し、必ず出席する。都合が悪く出席できない場合は、「教職ガイドブック」を、後日教務課で入手する。
- ◆教職の単位の取得には時間がかかるので、中学・高校の教師を考えている場合は、入学時から計画的に免許取得に必要な単位の履修を考えること。
→ <http://www.tp.hum.titech.ac.jp>



⑭オンライン教育【MOOC(Massive Open Online Course)】

- ◆誰でも受講することができるインターネット授業で、英語で発信している授業もあり、英語の字幕もあるため、英語の勉強にもなる。
→ <http://www.oedo.citl.titech.ac.jp/>



⑮授業以外の講演会、セミナーなどを聞いてみたい

- ◆学内でも数多く開催されている。東工大のウェブサイトのトップページ、在学生向けのお知らせ、東工大メールニュース（東工大のmアドレス宛に配信される）などを日頃から注意しておく。蔵前工業会（同窓会）主催のものもある。
- ◆専門的な内容のものについては、アカデミック・アドバイザーに相談する。

◆学生生活のデザイン②：+ α で何をするか？

⑩学生時代に東工大にかかわる仕事をしてみたい、学内で働きたい

- ◆図書館サポーター、キャンパスガイド、広報サポーター、ピアサポーター、学修コンシェルジュJr.、女子高校生理工系進学サポーター、学内ワークスタディなどがある。

→ https://www.titech.ac.jp/enrolled/extracurricular/jobs_campus/



⑪インターンシップ（就業体験）に行ってみたい

- ◆授業科目としてのインターンシップ（単位がもらえる）がある。
インターンシップ情報は、就職資料室にある。

→ <http://www.titech.ac.jp/enrolled/career/internships.html>



◆学生生活のデザイン②：+ α で何をするか？

⑭博物館、美術館に行きたい・芸術に親しみたい・興味を深めたい

◆東京工業大学博物館（百年記念館内）に行ってみる。

→ <http://www.cent.titech.ac.jp/>



◆東工大の学生証を提示すれば、東京国立近代美術館、国立西洋美術館、国立映画アーカイブの所蔵作品展を無料で、企画展（国立新美術館も含む）を割引料金で観覧できる。

・博物館・美術館とのメンバーシップ

→ <https://www.titech.ac.jp/enrolled/facilities/museum.html>



◆東工大の学生証を提示すれば、国立科学博物館（上野本館）、附属自然教育園、筑波実験植物園の常設展を無料（特別展は630円引き）で、観覧できる。

・国立科学博物館大学パートナーシップサイト

→ <https://www.kahaku.go.jp/learning/university/partnership/>



◆東工大の学生証を提示すれば、東京国立博物館の総合文化展を無料で観覧できる。
また、特別展やコンサートなどのチケットの割引購入や、博物館セミナーに参加で

・東京国立博物館キャンパスメンバーズサイト

→ http://www.tnm.jp/modules/r_free_page/index.php?id=167



◆学生生活のデザイン②：+ α で何をするか？

②①学会に入りたい

◆学生会員になれる学会もあるので、アカデミック・アドバイザーに相談する。

②①にほんご相談室（留学生の日本語学習に関するアドバイス、フリートーク、文章添削など）

◆場所：西1号館ラウンジ

◆日時：水・木 12:30～14:00

→ https://js.ila.titech.ac.jp/~web/nspace_j.html

※感染状況によりオンライン相談のみ対応する可能性があります。

詳細はHPをご確認ください。



②②OBと交流したい

◆東京工業大学同窓会「蔵前工業会」会員部会 学生分科会の会員になる。

◆キャリア相談（<http://www.titech.ac.jp/enrolled/career/counseling.html>）

に行き、キャリアアドバイザーに、「くらまえアドバイザー（OBのアドバイザー）」との面談を申し込めば、OBと個人面談ができる。



◆学生生活のデザイン③：将来の夢・計画と今を繋げるには？

「東工大学修ポートフォリオ（東工大ポータルメニューからアクセス）
を使って夢の実現につなげる」全体のプロセス

「学修ポートフォリオの書き方」を学びたい方は、
随時、学修コンシェルジュの窓口にいらしてください。

自分のことを伝えられるかなあ？

？

なんとなくわかっているけど、言葉にできない。。

③「現在の自分」
「学修計画」
「将来の夢・目標」の
間の一貫性、
ストーリーを
意識する。

「将来の夢・目標」を確認

将来の夢・目標



②振り返りを
「**次の計画**」に
つなげる

①まずは自分の
**現状把握、実績・
記録・振り返り**

「現在の自分」を確認

強み	興味のある分野	弱み
----	---------	----

ポートフォリオ
→ 個人の情報を
集めたもの

自分を客観的に
知ることができる

◆学生生活のデザインその④：早期卒業

①いつまでに・何単位・どのぐらいの成績を取れば早期卒業を希望できるのか？

申請の期間と要件について「**2022年度 学修案内**」を用いてしっかり確認してください。

早期卒業を希望する場合は、あらかじめ、アカデミック・アドバイザーや系主任（系所属以降）にその旨を相談してください。

②早期卒業で作れた自由な時間、何をする？

（過去にあった事例）

- ◆修士課程を通常より長くして、じっくり研究する。
→ 修士論文に相当する研究を2つ行う、修士論文を投稿論文にまとめる。
海外学会で発表するなどの時間にする。
 - ◆修士課程在学中に複数回派遣交換留学に行く。
 - ◆修士課程在学中に長期間の派遣交換留学に行き、海外大学の研究室で研究してくる。
 - ◆博士後期課程に進学する。博士号を通常より若い年齢で取得できるので、取得後の進路の選択肢の幅が広がる。
 - ◆海外の大学院へ進学する。
 - ◆通常よりも早く就職し、将来にそなえる。
- ・・・・・・そのほかにも、さまざまな可能性があるはず！



◆学生生活のデザインその⑤：学び方

学びの7か条

—自ら学び続ける力を身につけるために—

<https://www.titech.ac.jp/student/pdf/84-7-tokyotech-principle.pdf>

1. いろいろな教員と積極的に接する
2. 学生間の協力関係を築く
3. 自立的に学習する
4. 学習の進捗を常に把握する
5. 授業外の学習を計画的に行う
6. 高い志をもって行動する
7. それぞれの個性と様々な学びを大切にする



◆オプション：アルバイトについて

アルバイトは、学業に支障がないよう、気を付けましょう。

1年目は大学生活のリズムを作る大切な時期ですので、アルバイトは控えめにしましょう。

大岡山キャンパス自習室一覧

授業終了後、自習用に学内の各地区の講義室を開放しています。
(★印：グループ学修可)



講義室	東地区（中庭講義室）			西地区		南地区	石川台地区	緑ヶ丘地区
	H102	★H103	H104	W832	W834	S421	I311	M321
写真								
利用時間	【月～金】18:05～19:45 ※土日祝日・試験期間中・授業期間外を除く			【月～金】18:05～19:45 ※土日祝日・試験期間中・授業期間外を除く				
席数	48席	96席	48席	39席	61席	102席	66席	48席
共用施設	東地区	東地区		東地区		西地区		
	★附属図書館	★Taki Plaza 2階 （階段脇の長机）		★Taki Plaza B2階		★リベラルアーツ 図書室		
写真								
利用時間	HP参照	【月～金】 8:30～21:00 【土・日・祝】 9:00～20:00		【月～金】 8:30～21:00 【土・日・祝】 9:00～20:00 ※イベント時は使用不可		HP参照		

自習・グループ学修室の詳細はウェブページ（在学生向け＞施設利用）をご確認ください。
<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/facilities/study-room>

◆前学期の授業日程

■ 前学期（2022年4月1日～2022年9月27日）

第1クォーター

2022年	
4月5日(火)～4月8日(金)	授業準備期間
4月9日(土)～6月1日(水), 6月3日(金)	授業
5月16日(月)	木曜の授業を行う
5月21日(土)	ホームカミングデイのため授業休み
5月26日(木)	創立記念日は授業を行う
6月2日(木)～6月10日(金)	期末試験・補講 ※6月3日(金)は通常授業 ※6月9日(木)は週1回科目の予備日

第2クォーター

6月11日(土)～7月29日(金), 8月1日(月)	授業
7月30日(土)～8月9日(火)	期末試験・補講 ※8月1日(月)は通常授業 ※8月6日(土)は授業休み ※8月9日(火)は週1回科目の予備日
8月10日(水)～9月27日(火)	夏休み

授業日程のウェブページ

<https://www.titech.ac.jp/student/students/life/schedules>

◆サークル活動

皆さんの大学生活を大きく左右するサークル選び。
東工大には文化系、技術系、体育系、多くのサークルがあります。
サークル紹介サイトでは公認、非公認ともに様々なサークルの情報が見られます。
まずは気になるサークルを探してみよう！

サークル紹介サイトは
こちらから



◆ Hisao & Hiroko Taki Plaza

2020年11月 大岡山キャンパスに完成

学生のための国際交流拠点で、さまざまな活動しよう！

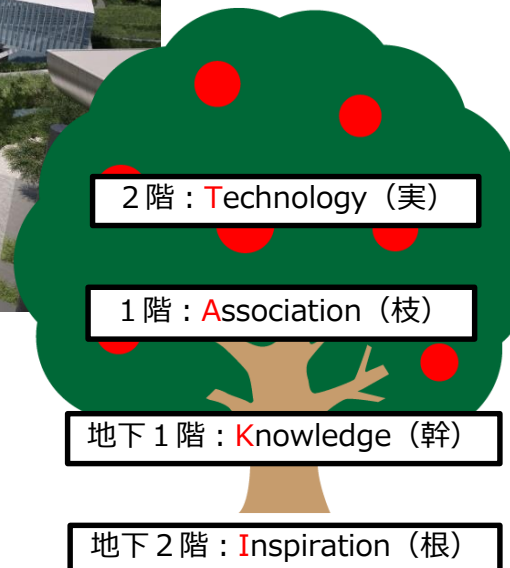
建物コンセプト：外国人学生と日本人学生がここで出会い、絆を深め、共にまだ見ぬ未来を生み出そう。



Taki Plaza ウェブサイト
トップページ> 在学生向け> 施設利用> Taki Plaza



学修コンシェルジュ窓口は
Taki Plaza地下1階に
ございます



学生の成長

2階 : クリエイティブスペース (Attic Lab)

志を持った学生が集まり、学生の創るアイデア（技術）が「実」を結ぶ場。

1階 : パブリックアート・カフェ

外の世界へとつながり「枝」を広げる場。

地下1階 : キャンパスライフ情報エリア

知識を蓄積し、世界へ羽ばたくための「幹」を強化する場。

**ポイント : 「留学生支援の強化」
「学生同士の学び合い促進」**

地下2階 : イベントスペース

仲間との交流を通じて、「根」より原動力となる“ひらめき”を得る場。

※ 1階、地下1階に学務部学生対応窓口を集約し、ワンストップサービスを実現。

◆ Taki Plazaで展開する学生の主体的活動

◇ Taki Plaza Gardener (TPG)

人と人の繋がりを創りたい方の参加を待っています。



TAKI PLAZA GARDENER

Taki Plaza Gardener (TPG) は、サークルとも部活動とも異なる、大学からTaki Plazaを運営する団体として支援を受けている学生委員会です。
TPGの役割を一言で表すとTaki Plazaの「能動的な裏方役」です。

◇ Attic Lab

東工大生による東工大生のためのコワーキングスペース

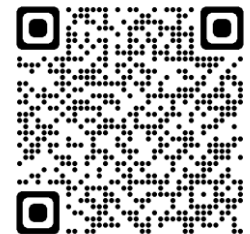
Attic Labはあなたの「やってみたい」をサポートします

「場所がない」「知識がない」「仲間がない」

もうこのような悩みは必要ありません

場所も知識も同志もいる、そんな空間が東工大にはあります

さあ、**2021年4月**オープンの**Taki Plaza2階**へ



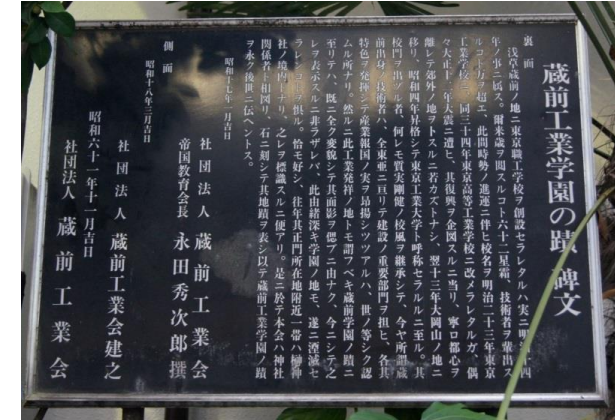
◆ 東工大の歴史



◆ 東工大の歴史

◇ 蔵前 ～東工大発祥の地～

1882年12月、台東区蔵前2丁目辺りに、
本学の前身である東京職工学校の
レンガ造りの校舎が竣工。



- 「煙突のあるところ蔵前人あり」といわれる
ほど豊富な人材を生み出した。
- 東京工業大学の同窓会が「蔵前工業会」である理由

1923年9月1日、関東大震災により蔵前の校舎が
灰燼に帰す。



1924年4月、大岡山の地に移転。

蔵前の記念碑探検に行こう！
「第六天神神社」の境内に
あるよ！

◆ 創立初期に東工大を育てた人物

◇手島精一

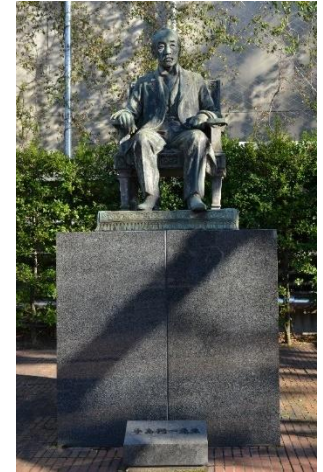
1890年校長就任～1916年退任 日本における工業教育の父

～工業学校と産業界の連携を保ち、
民業育成と工業近代化を担う人材を育成～

- 校名の改称
「東京職工学校」→「東京工業学校」
工業教育の重要性を訴えた
- 学科の改組
産業界の推移に適切に対応
- 志願者の拡大を図るため、入学手続きを改正
地方での受験、成績優秀者の特別入学許可
など



本館前の桜並木の近くにあるよ！



◇G. ワグネル博士



ひょうたん池近くに
記念碑



1884年窯業学を開講、1886年陶器玻璃工科設立
創立初期唯一の外国人教師 旭焼の開発（東工大博物館に所蔵）

◆ 東工大が積み重ねる世界一級の『実績』

絶対零度-273.15℃ の決定

1954年、木下正雄と
大石二郎の成果により
絶対零度の下2桁が決定



オートファジーの 仕組みの解明

大隅良典
2016年ノーベル生理学・医学賞



世界ではじめての ブラウン管式テレビ

高柳健次郎が
1926年に発明



光ファイバー通信

末松安晴が1961年から
光通信の研究を開始
末松門下生は学会・産業界で
光ファイバー通信の研究・事業化に
世界レベルで貢献



量子コンピュータ

1998年、西森秀稔が
量子アニーリングを提唱
量子コンピュータの
実用化に向けて大きく貢献



薄膜トランジスタ 「IGZO」の開発

細野秀雄のプロジェクトで
発明された研究成果を基に
シャープが世界初の量産化に成功



高性能スパコン 「TSUBAME」

省エネ性能世界一



◆ 東工大が積み重ねる世界一級の『実績』

導電性ポリマーの 発見と開発

白川英樹が東工大在籍中に発見
2000年ノーベル化学賞
ディスプレイ、LSI への応用へ

温度無依存 水晶振動子



古賀逸策が1932年頃に発明
2017年、IEEEマイルストーンに
認定される

フェライト・超伝導



加藤與五郎、武井武が
1930年にフェライト
（磁性体）を発明
TDKにより事業化される
細野秀雄は、鉄系化合物による
高温超伝導物質を発見

アンモニア合成への貢献



1913年、初の工業化チームの
一員として田丸節郎が活躍
その後の触媒開発を尾崎萃、
秋鹿研一、細野秀雄、原 亨和らが行う

ビタミンB2

星野敏雄、佐藤徹雄が
1951年に合成・工業化に
成功

歯車

中田孝が1929年頃から
研究を開始
自動車産業の発展に
大きく貢献

東工大百年記念館



東工大におけるミュージアム
機能の中心的な役割
設計者である篠原一男は、
2010年ヴェネツィア・ビエンナーレ
特別記念金獅子賞

◆ ロボコン発祥の地



ロボコンから生まれた「もの作りは人作り」の標語が刻まれ、
2本の乾電池をかたどった記念碑。
1982年第1回競技会のゴール地点である大岡山南5号館
西側緑地に設置。



◆ アインシュタインの 東工大訪問



1922年に東京高等工業学校（現東京工業大学）を
訪問したアインシュタイン

◆東工大同窓会による学生の支援活動



➤ 蔵前工業会による支援活動 <http://www.kuramae.ne.jp/>

- 学生分科会
(在学生がメンバーとなって、蔵前ジャーナル（蔵前工業会会誌）の企画などを担当）
- 蔵前立志セミナー＆蔵前ゼミ
(OBによる講演会・講義、大岡山とすすかけ台で開催)
- 東工大基金への募金活動及び学生支援
- くらまえアドバイザー（OB）による就職活動支援
- 学修コンシェルジュによる新入生ガイダンス

➤ 学科別同窓会による支援活動

- 学科別同窓会：18同窓会
- 支援内容：講演、就職活動支援他

➤ 研究室同窓会

➤ サークル同窓会

参考① 先輩たちの声：時間割をどのように組んだのか？

※2018年度・2019年度に先輩達に直接ヒアリングした内容を再構成して掲載しています。

Aさん（2020年度 生命理工学院学士課程1年）

1年生の最初は、自分で選べる科目の範囲が狭いので、まずは一番大事な必修科目をすべて書き出した。その後、100番台科目のユニット別配置一覧に、自分のユニットの必修科目を黄色、選択科目は赤で色分けした。時間割の表を自分で作って、先にユニットで決まっている必修科目を入れ、次にユニットごとに時間が決まっている選択科目を入れてみる。その後、単位数を数えながら、必要に応じて削る形で、1・2Qの時間割を組んだ。コロナ禍の中の入学で最初は時間割づくりに苦労したが、学修案内をしっかりと読んだり、学修コンシェルジュの動画や資料等を読んだ。また、SNS等で、各サークルが新歓で時間割の作り方を教えてくれていることを知ったので、そういったイベント等にも参加して参考にした。あくまで学修案内が大事だが、そういった情報は時間割づくりの参考になった。

SNSでの「あの先生は難しい」「楽だ」は、人によるので実際はあまり参考にならなかった。「楽な授業だから手を上げなくてもいい」と友達に言われて、受動的に授業を受けていただけだと少しつまらなかったが、自分で手を挙げて主体的に動くようにしたら、授業が楽しくなった。

なので、授業でも是非主体的に動いて楽しんでほしい。



参考① 先輩たちの声：時間割をどのように組んだのか？

※2018年度・2019年度に先輩達に直接ヒアリングした内容を再構成して掲載しています。

Bさん（2020年度 環境社会理工学院学士課程1年）

コロナ禍の中での入学で、履修登録等は苦労したが、大学から送られた資料に加えて、自分で主体的に動きながら情報をたくさん得て、総合的に参考にするようにした。TwitterなどのSNSでいろいろな部活・サークルの新歓や交流会、先輩たちによる履修説明会の情報を探して、Zoomでたくさん参加した。そういったイベントに参加すると、大学生活や履修に関する参考になるだけでなく、Zoom上でも顔見知りが増える。別のイベントでも会ったりして、そこから話が広がった。そういった時に連絡先を交換した友達と、後で授業で一緒になり、課題などに関して相談できるようになってよかったと思う。

4年生になると研究室が忙しくて授業があまり取れなくなる可能性があるので、今年はキャップの上限まで履修した。良い成績を取ることに一生懸命になりたくなかったので、必修以外の科目に関しては、受けて楽しそうな科目を優先して時間割を組んだ。夏にはグローバル理工人育成コースのプログラムを履修して、東南アジア出身の人と英語で話すなどすることができた。コロナ禍でも様々な体験ができる機会が東工大にはあるので、自分で主体的に調べて、様々なことに挑戦していったほしい。



参考① 先輩たちの声：時間割をどのように組んだのか？

※2020年度に先輩達に直接ヒアリングした内容を再構成して掲載しています。

Cさん（2020年度 物質理工学院材料系学士課程2年）

自分は1年生の時から様々なサークルに入ったりバイトをしていたので、上限ギリギリまでは履修しなかった。余裕があるなら上限ギリギリまでとっても悪くはないが、時間は有限なので、自分がやりたいこととのバランスも考えながら時間割を組むことも大事。必修科目にプラスして、文系ゼミと英語科目、他学院の概論系のクラスを履修した。早期卒業は考えていなかったなので、1年の前期で30単位くらい、後期はバイトや課外活動を中心に12-3単位程度履修した。周りがやっているから、との理由で最大まで取ると、自分のライフスタイルに合わない可能性もあるので、自分には何が必要なのか、何をすべきなのかをよく考えて時間割を組むことが大事。必修以外には、自分が進みたい系に関係する科目と、あと人と仲良くなれる機会を作りたかったので、文系ゼミを履修した。大学の学士課程で取れる科目は、ある程度独学で学べる科目も多いので、課外活動でも時間割でも「面白そうな人・ものに出会えそう」なものを選んだ。

主体的に大学生活を送るためには「なぜ自分がそれをするのか」
「自分に何が必要なのか」「何をすべきなのか」と考える癖をつけることが大事。



参考① 先輩たちの声：時間割をどのように組んだのか？

※2020年度に先輩達に直接ヒアリングした内容を再構成して掲載しています。

Dさん（2020年度 生命理工学院生命理工学系学士課程3年）

1年生の1・2Qは、必修の科目がとても多いので、100番台科目の配置一覧と時間割表で自分のユニットのクラスをしっかりと確認することが中心だったが、3・4Qは授業選択の自由度も上がってきたので、興味がある科目のシラバス（特に、「講義の概要とねらい」「授業計画・課題」）をよく見ながら、履修科目を決めた。1年生の時は、もっと英語力を高めたいと思って、必修ではない英語も履修した。理系は多くの分野で、研究に英語が欠かせない。研究室に入ると、英語で論文を読むことも増えるし、英語での研究発表の機会が増えることも多い。また、学年が上がると時間の余裕が減っていく。なので、国際交流に関心がある人は、1年生のうちに空きコマを有効活用して、必修以外の英語科目も取ることをお勧めする。

個人的には、1年生のうちに研究室訪問に行くことをお勧めする。私は、行きたい研究室の先生の授業を履修し、授業後に残って質問する中で、先生が名前を憶えてくれて、いろいろなことを聞ける人間関係ができた。まだ専門知識がないし…と思うかもしれないけれど、誰も気にしてない。特にコロナ禍の中では、勉強でも、課外活動でも、「ちょっとやりすぎ？」と思うくらい自分で動いてちょうどいいくらいと、個人的には感じている。



参考② 東工大教員・名誉教授が、学士課程1年目のうちにしておいたらよいと考えていること

※2016年度、2018年度の東工大教員・名誉教授からのメッセージ及びヒアリングした内容を再構成して掲載しています。

A先生

1年目には、なんらかのグループ活動（サークル・部活動など）にぜひ参加してもらいたい。他大学、文系、海外の学生とも積極的に交流すると良い。東工大の同級生たちだけと付き合い、授業に真面目に出席して成績を取るだけで満足しないように。多様な人達との交流を通じて、所属するグループにおける「自分自身の立ち位置」を意識できるようになってほしい。東工大には大岡山・すすかけ台それぞれにたくさんの素晴らしい研究室がある。研究室所属する前に、自分から積極的に多くの研究室を訪ねて先生に話を聞いて、その上で自分が所属する研究室を決めると良い。

B先生

東工大に入学した新鮮な初心を忘れないで欲しい。そして日々の新しい出会いを契機に自分を磨いて欲しい。東工大は理系、文系を超えて学びができる環境にあります。やはり、旺盛な好奇心を持つことが大事です。好奇心を豊かにするためには分かったつもりにならないこと。昨今は情報が多く、つい何となく分かった気になるが、やはり時間をかけ、突き詰めて納得できる自分の答えを見つけて欲しい。何年かかるとしても。好奇心には理系、文系の区別はありません。宇宙がなぜ存在するのか、どのように存在するのかを考えようとすれば、物質や時空について知る必要があるし、さらには哲学や文学、また芸術なども深く関わるでしょう。好奇心は不思議だと思ふ気持ちがあれば広がります。そして自分が少しずつ見えてきて、将来の夢も描けると思う。

参考② 東工大教員・名誉教授が、学士課程1年目のうちにしておいたらよい と考えていること

※2016年度、2018年度の東工大教員・名誉教授からのメッセージ及びヒアリングした内容を再構成して掲載しています。

C先生

大学は自分の意志さえあれば、いろいろなことが実現できるところです。大学1年目では、まず知的な好奇心をもって、何にでも自ら積極的に立ち向かい、自ら動くことを心がけて欲しいと思います。知識は比較的容易に手に入ります。重要なことは、どのような知識が必要かを見極め、得られた知識から何を引き出すかです。そのためには、考える力が重要です。また、忙しい現代では、いかに考えることに集中するかも大事です。どのような事柄にでも興味を持って考え続けることで、あなたの眼前には大きな世界が開けます。

D先生

我々東京工業大学教員職員一同は、これから皆様方と東京工業大学で共に学び、研究、活動できることを楽しみにしております。皆さんと教職員が ” 共に活動 ” していく中で、皆さんはもとより、東京工業大学自身が発展できるものと考えております。皆さんには、これまでも増して自発的に学び、他者と交わりを持つようにお願いします。大学には、そのような機会を十分持てるような色々な場面が用意されています。ぜひ、自らそのような場面展開を探ってください。この資料にも色々なヒントが載っていると思いますので、是非参考にしてください。東京工業大学は、皆さんにとって良い学修の場となるように、大学自身が成長し続けています。

参考② 東工大教員・名誉教授が、学士課程1年目のうちにしておいたらよい と考えていること

※2018年度の東工大教員・名誉教授からのメッセージ及びヒアリングした内容を再構成して掲載しています。

E 先生

みなさんは小学校以来、もう12年も学校で勉強をしてきました。大学では、今まで以上に自ら探索的に学ぶ姿勢が重要になります。まだしばらくは講義を受けることが多いでしょうから、ともすると高校（や予備校）と変わらないと感じてしまうかもしれません。でも、それは全く違います。自ら視野をさまざまな領域に広げるかどうかで何年か後の自分が大きく変わってきます。社会に広く目を向けていろいろな人と出会う機会に飛び込むとよいでしょう。新聞も読むようにしてください。そうするうちに、学ぶ目的が明確になり、文系科目から専門科目までの様々な内容や相互の関係に興味をもって取り組めるでしょう。

F 先生

挑戦を始めよう。勉学・研究のことでも、サークルや趣味などの課外活動のことでも、もちろん一つでなく複数でも結構、個人でも団体としてでも結構だが、一般的に大きいと考えられる目標を掲げよう。目標を達成し得る道筋を可能な限り綿密に計画しよう。人類の過去、叡智に学び、それぞれの目標に関わる先人の意見を大いに取り込もう。そして、多くの時間を費やして取り組もう。既に挑戦を始めている人は、盲目的にならず、囚われることなく、謙虚に柔軟に。これまでの約20年間とこれからの学士4年、修士2年、博士3年の9年間で君は人生の礎を手に入れる。



学修コンシェルジュ窓口では、皆さんの学修計画や履修の仕方など、学修活動全般について相談に乗っています。

学修についてわからないことがあれば、気軽にご相談ください。

利用情報は次の学修コンシェルジュ窓口HPをご覧ください。



学修コンシェルジュ窓口HP

学修コンシェルジュLINE公式アカウントは、学修生活に関する情報を毎月2回配信しています。

記事の作成は、学修コンシェルジュJr.の東工大生が行います。学生視点から有益な情報をピックアップして配信するので、ぜひ登録してください。



**学修コンシェルジュ窓口
公式LINEアカウント**